

Q アプローチショットが苦手な人でも スコアを伸ばせるコース攻略の考え方

私は、昭和18年生まれの66歳です。今一番の悩みは、コースに出た時に必ず3~4ホールで8打(OBはない)などのホールが出るためにスコアが安定しません。ティーショットではほとんど問題がないのですが、2打目または3打目がトップ、ダフリまたはシャンクです。4人でプレーしている時、第2打を打つ順番はほとんど3番目か4番目です。すなわちドライバーは年甲斐もなく常に230~250ヤードは飛びます。若い人たちのコンペなどでもよくD.Cを頂きます。

アプローチが安定しないのです。どうすれば安定しますか？1日にパーは6~7個ぐらいは必ず取れます。ちなみに、ゴルフは誰からも指導は受けず全て自己流です。ゴルフ歴は40年ぐらいあります。今は月に2~3回ぐらいコースに行く程度です。年間30ラウンドぐらいです。練習場には仕事が忙しくてほとんど行きません。アプローチを安定させるポイントは何でしょうか？よろしくお願ひ申し上げます。

A

ドライバーの飛距離も出るのに、セカンドショット以降で失敗し、大叩きしてしまうことがある——それは、コース攻略の考え方に問題があるのかもしれません。セカンドショット以降は決して平坦なライはありません。平坦に見えても、わずかな傾斜などがあるものなのです。また、芝生はどうか、風はどうか、傾斜はどうかなど、あらゆる情報を分析して、自分が“一番成功する確率が高い”と思う球種を打つ必要があります。つまり、冒険は必要なのです。

また、アプローチショットが苦手という意識から、セカンドショットからグリーンに何が何でものせてしまおうと、無理な攻め方をしているのではないのでしょうか。そして、失敗した場合には、難しいライばかりからアプローチショットすることになったり、バンカーにつかまったりしていないのでしょうか。

「スウィング技術」と「コース攻略」は別のものです。よって、次回のラウンドでは、ぜひグリーン上からホール全体を観てみてください。ティーグラウンドからでは気付かなかった傾斜や、その場では気が付かなかった傾斜などがはっきりと分かるでしょう。どこからのアプローチショットが一番簡単か、セカンドショットはどこからが一番打ちやすそうかなどを考えてみると必ず打ちやすそうな場所があるはずです。プロのアプローチショットがピンに絡むのは、技術もありますがコースマネージメントがしっかりしているからです。グリーンにのらずとも簡単なライが残ることが多いため、成功する確率が高いのです。それはショットの完成度もありますが、プロはアマチュアよりも無理な攻め方をしないものです。

そこでおすすめるのは、カップから逆算して一番簡単なルートを考えることです。そして、グリーンを狙わず、ガードバンカーがあるなら絶対に届かない番手で花道を狙います。こうすると、無理にピンを狙うプレッシャーがなくなり、アプローチショットも簡単なライが残るため、成功する確率が高くなります。このようにして自信を付けていくのです。もしグリーン上で2打で上がればボギー、失敗してもダブルボギー、心に余裕が出てくると寄せワンでパーもあるでしょう。ご質問者の方の現在のドライバーの飛距離を考えると、もっとよいスコアが出せるはずですので、練習ラウンドだと思って、ぜひ一度試してください。